

兵庫県内の市町財政の状況(令和5年度)

(1) 経常収支比率の状況

【資料1】令和5年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況<地図>	109
【資料2】経常収支比率(単年度)の対前年度比較	110

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】令和5年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	111
【資料4】実質公債費比率の対前年度比較	112

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】令和5年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	113
【資料6】将来負担比率の対前年度比較	114

(4) 財政調整基金残高の状況

【資料7】令和5年度末兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況<地図>	115
【資料8】財政調整基金残高の対前年度比較	116

(5) 税徴収率の状況

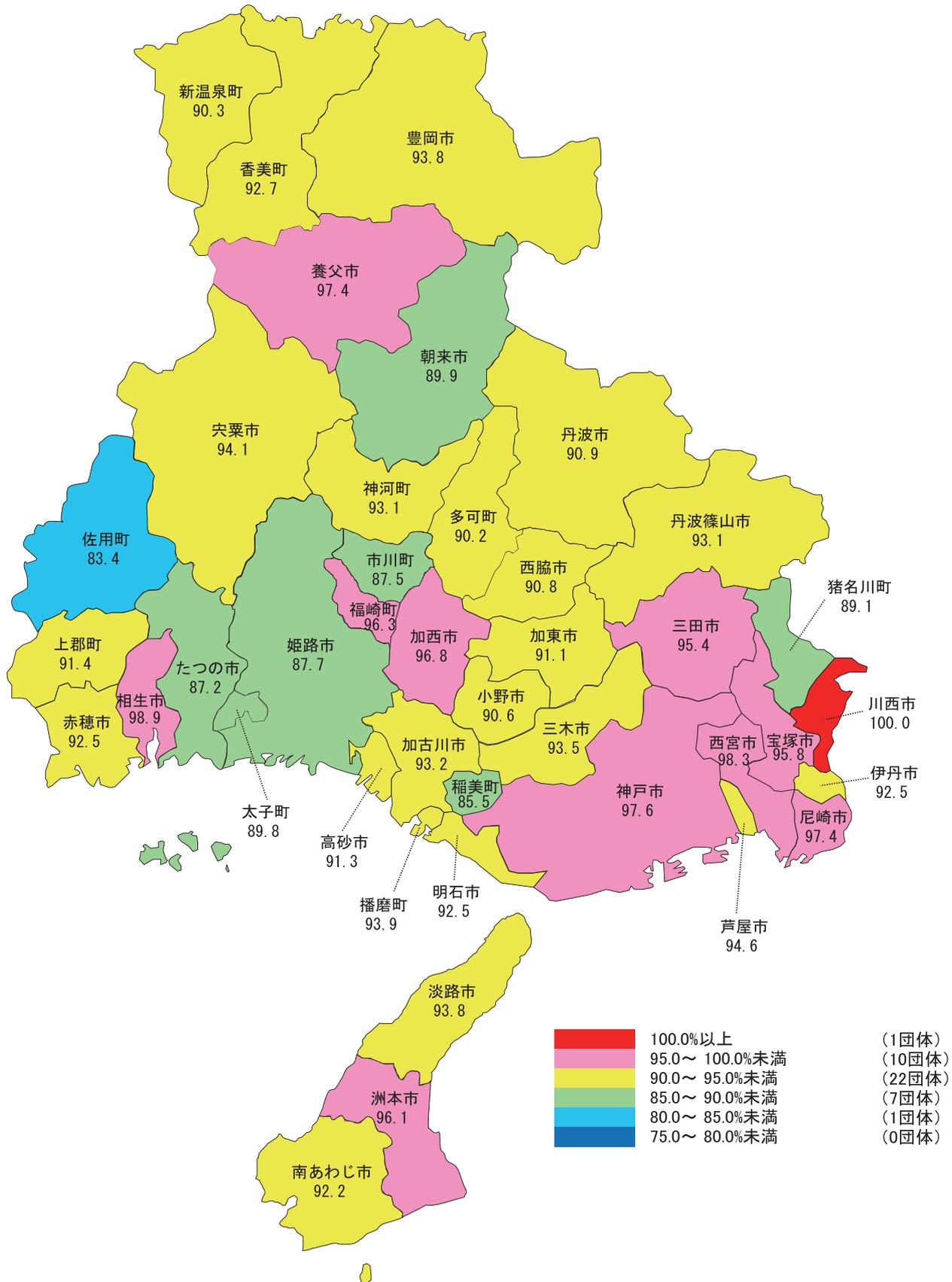
【資料9】令和5年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況<地図>	117
【資料10】徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較	118
【資料11】令和5年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況<地図>	119
【資料12】徴収率(固定資産税)の対前年度比較	120
【資料13】令和5年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況<地図>	121
【資料14】特別徴収実施率の対前年度比較	122

※ 参考

【参考資料①】令和5年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>	123
【参考資料②】令和5年ラスパイレス指数の対前年比較	124

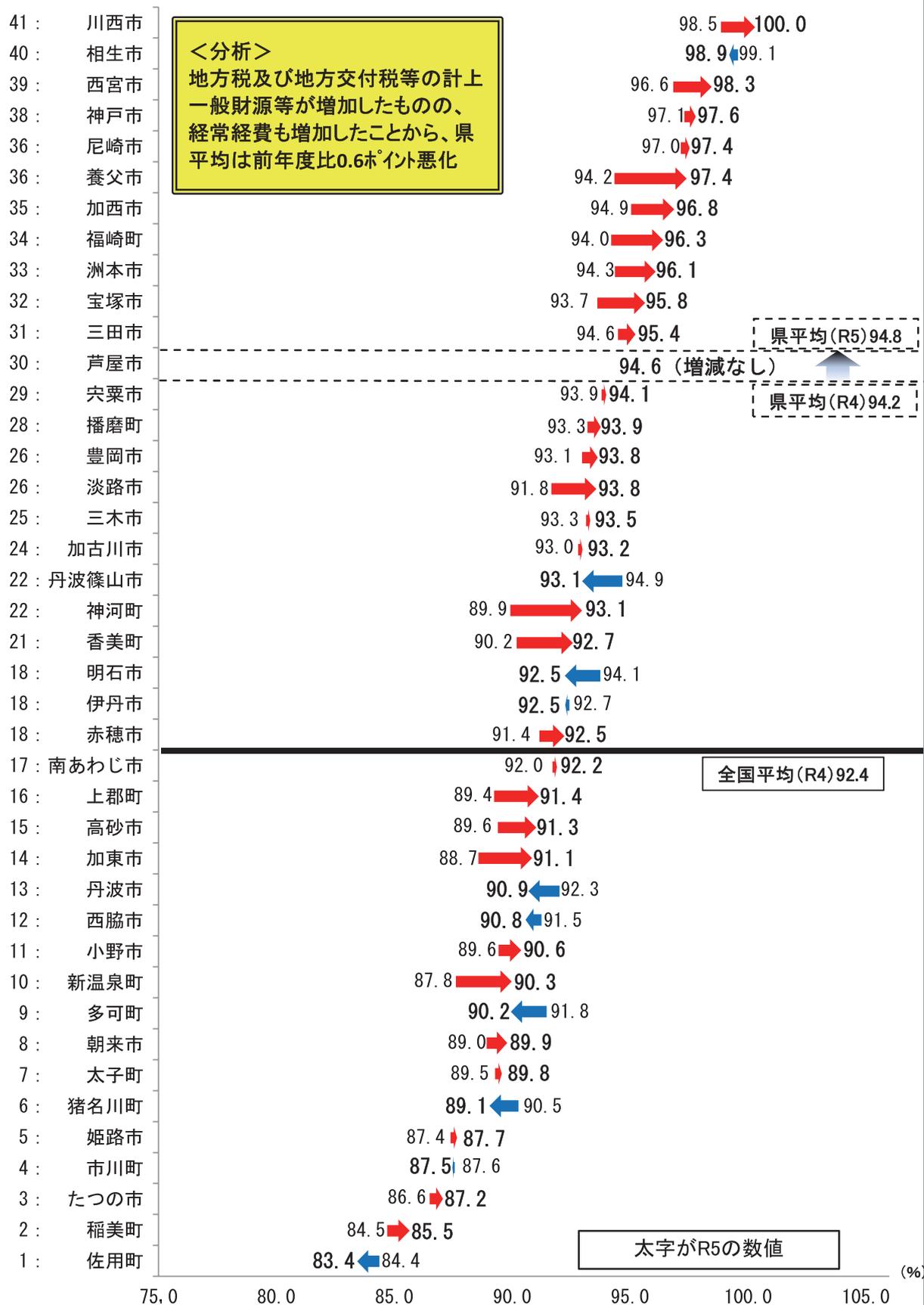
令和5年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況

- 経常収支比率の県内市町平均は、94.8% (R4県平均94.2%)
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では川西市(100.0%)、町では福崎町(96.3%)
- 経常収支比率が最も低い団体は、市ではたつの市(87.2%)、町では佐用町(83.4%)



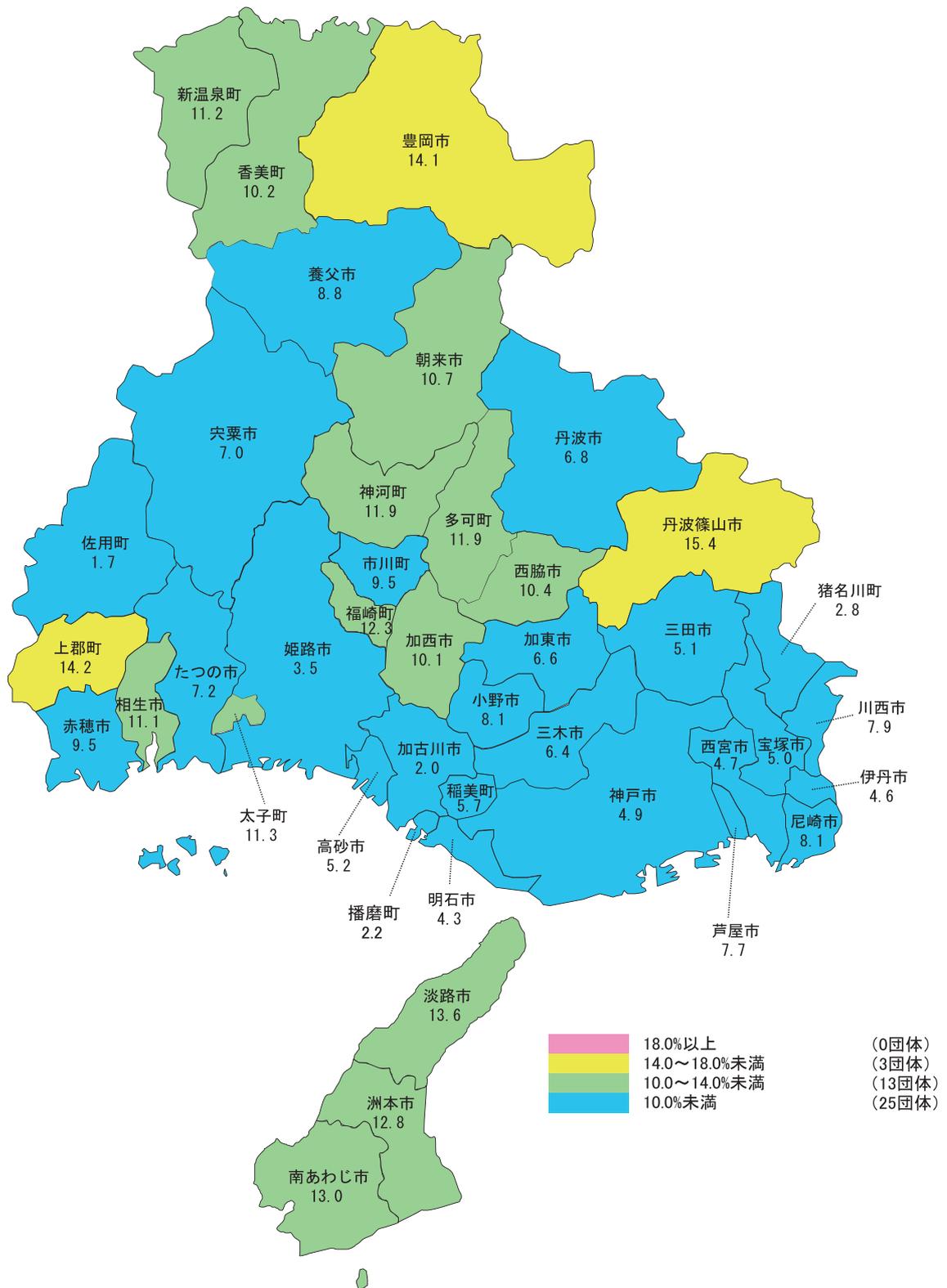
経常収支比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは30団体、比率が減少したのは10団体、1団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では丹波篠山市(▲1.8)、町では多可町(▲1.6)。
- 最も増加したのは、市では養父市(+3.2)、町では神河町(+3.2)。



令和5年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

- 実質公債費比率の県内市町平均は、6.1% (R4県平均 6.0%)
- 実質公債費比率が25%以上及び18%以上の団体は、ない。
- 実質公債費比率が最も高い団体は、市では丹波篠山市(15.4%)、町では上郡町(14.2%)
- 実質公債費比率が最も低い団体は、市では加古川市(2.0%)、町では佐用町(1.7%)

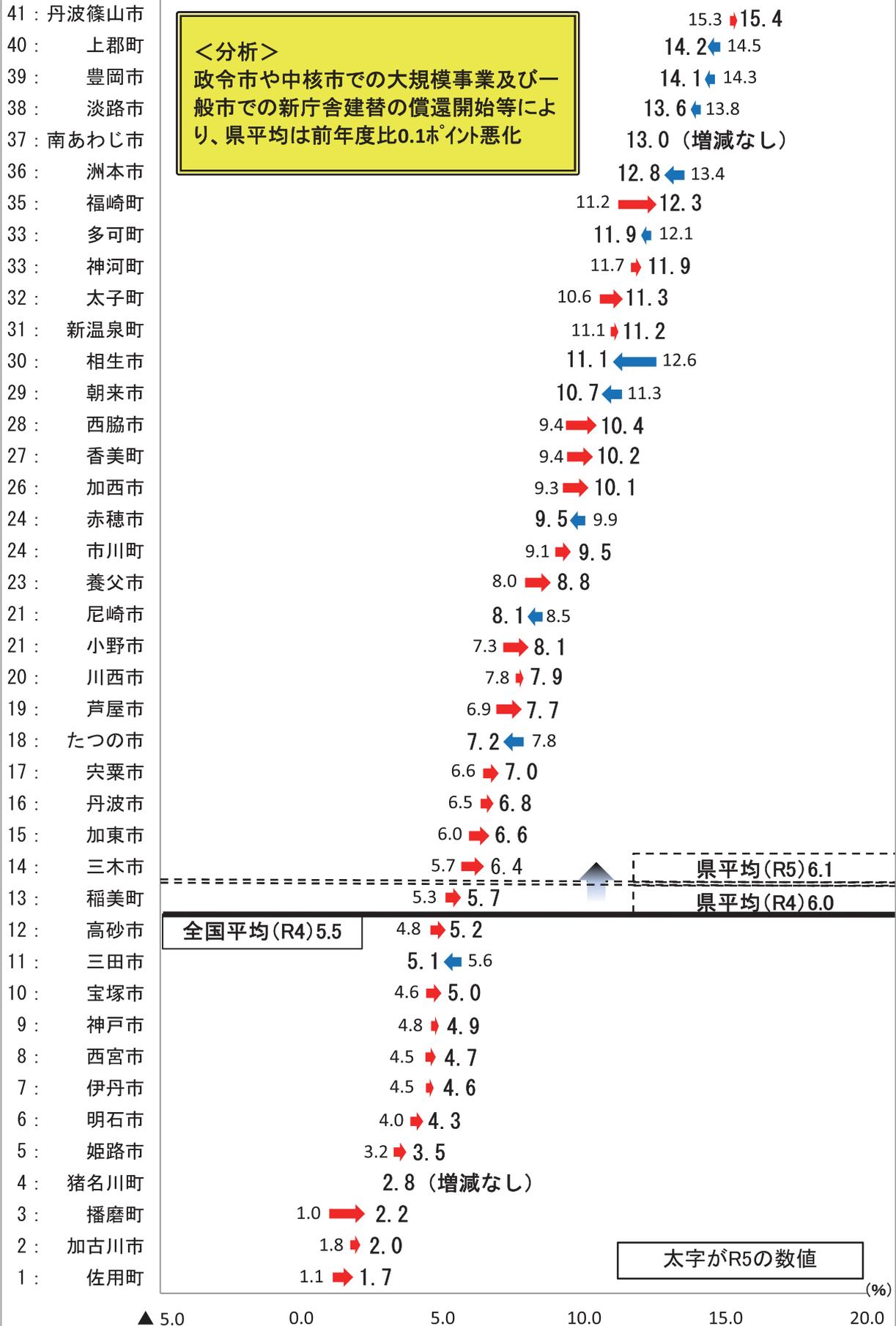


※実質公債費比率25%以上35%未満の地方公共団体:早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債を許可。
 ※実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体:公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債を許可。

実質公債費比率の対前年度比較

【資料4】

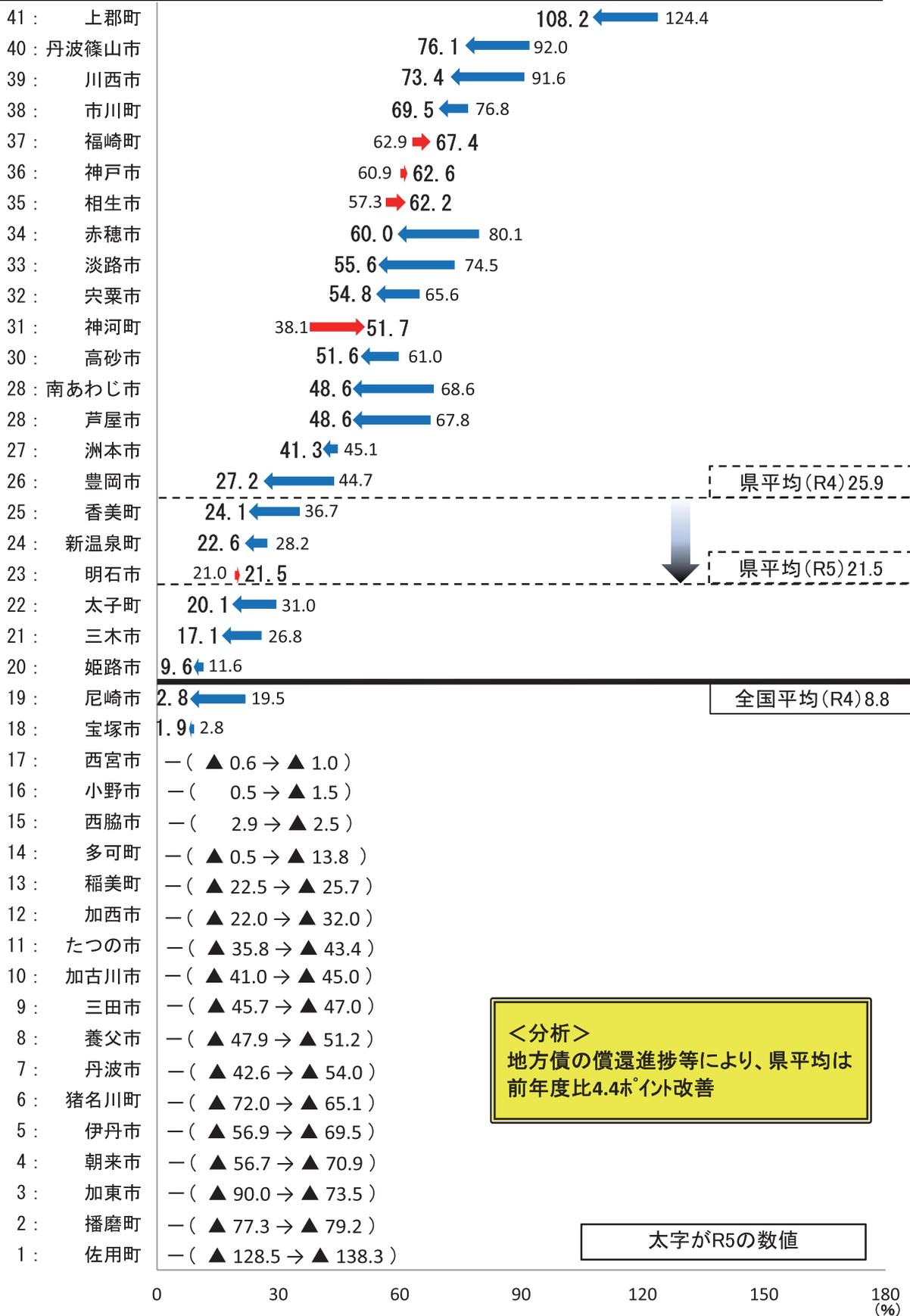
■前年度から比率が増加したのは28団体、比率が減少したのは11団体、2団体が増減なし。
 ■最も増加したのは、市では西脇市(+1.0)、町では播磨町(+1.2)。
 ■最も減少したのは、市では相生市(▲1.5)、町では上郡町(▲0.3)。



将来負担比率の対前年度比較

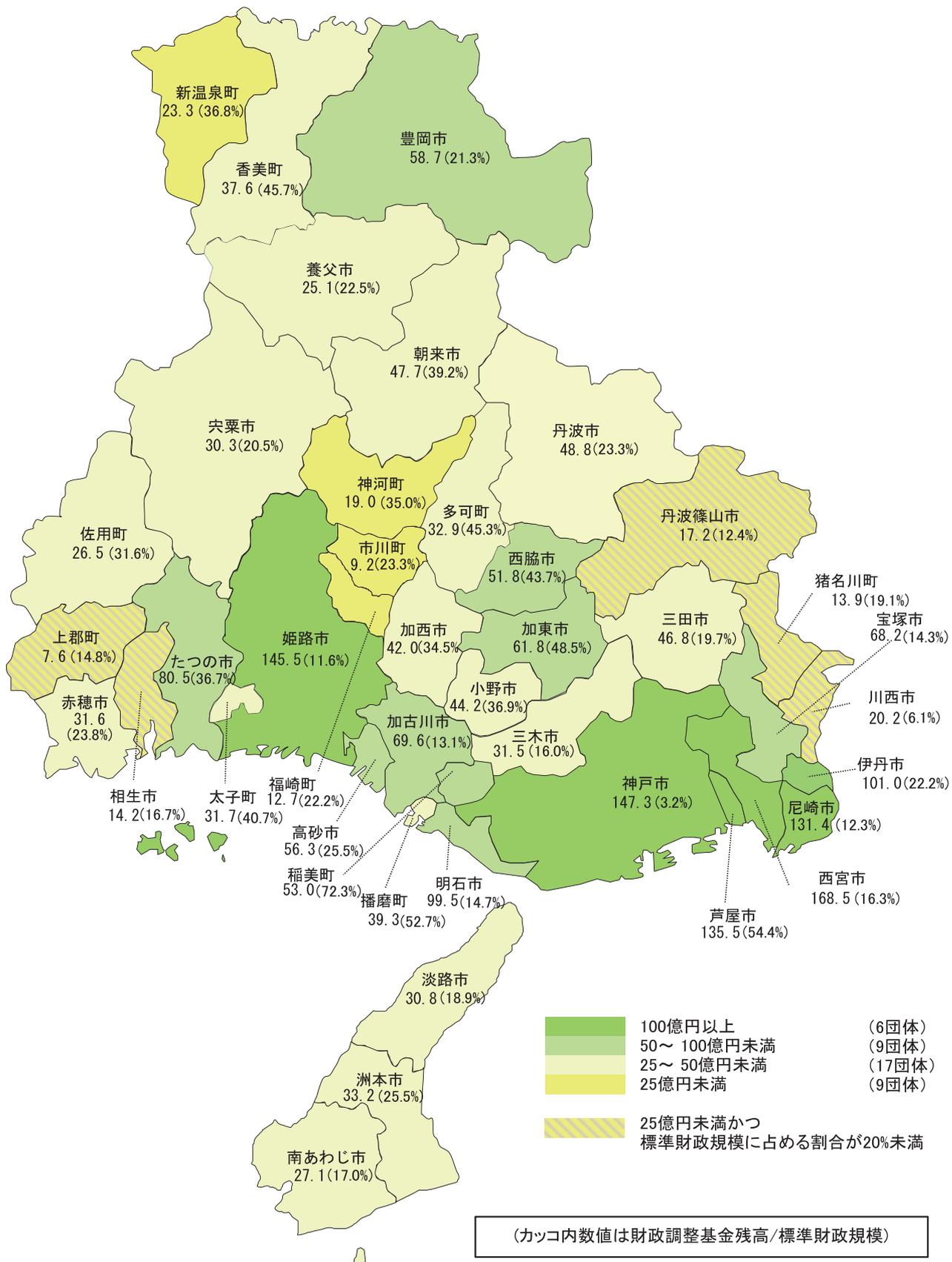
【資料6】

- 前年度から比率が増加したのは7団体、比率が減少したのは34団体。
- 最も増加したのは、市では相生市(+4.9)、町では神河町(+13.6)。
- 最も減少したのは、市では赤穂市(▲20.1)、町では上郡町(▲16.2)。



令和5年度末兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況

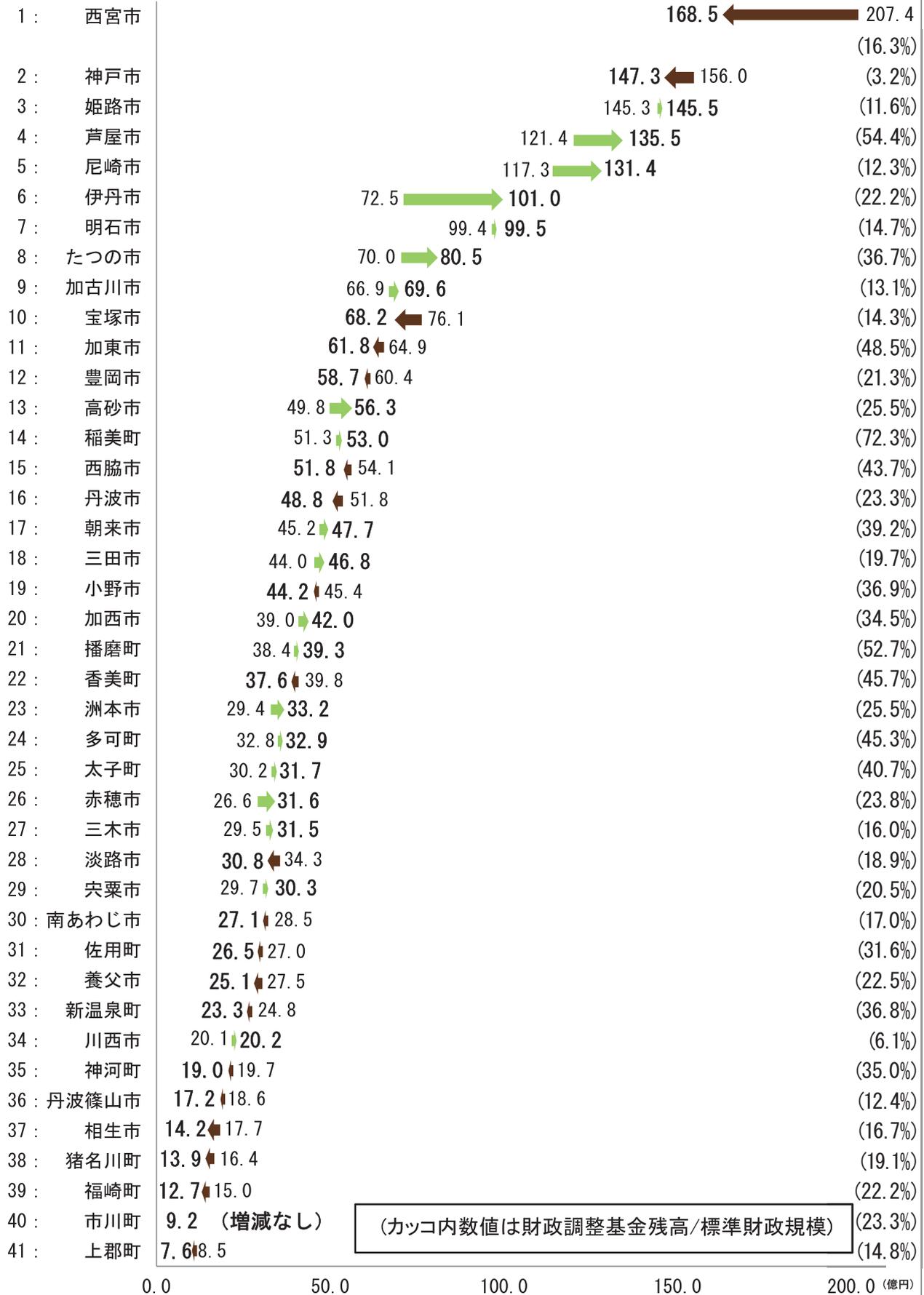
○財政調整基金残高の県内市町合計は、2,173.0億円
 ○財政調整基金残高が最も多い団体は、市では西宮市(168.5億円)、町では稲美町(53.0億円)。
 ○財政調整基金残高が最も少ない団体は、市では相生市(14.2億円)、町では上郡町(7.6億円)。



財政調整基金残高の対前年度比較

【資料8】

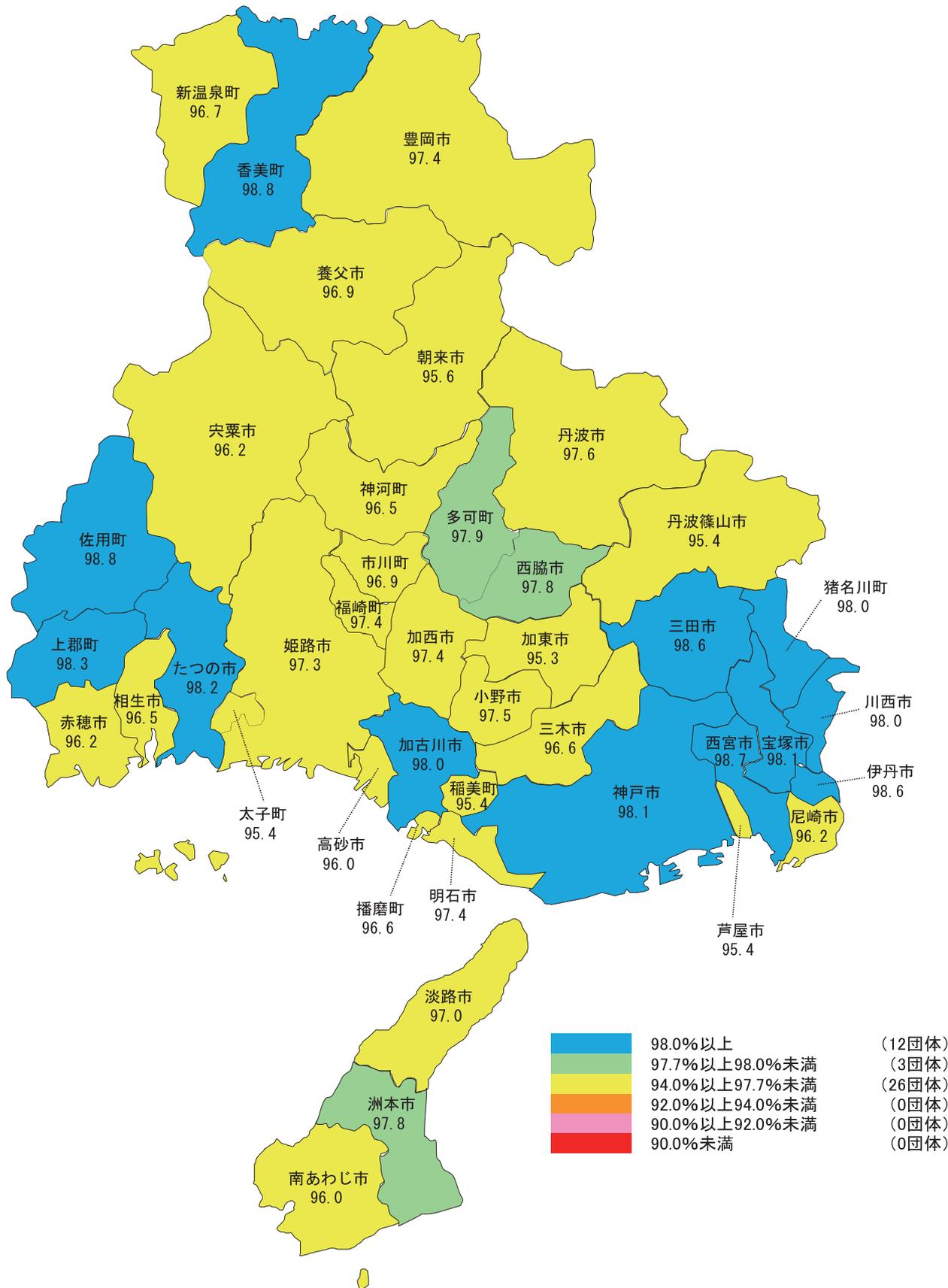
■前年度から残高が増加したのは20団体、残高が減少したのは20団体、1団体が増減なし。
 ■最も増加したのは、市では伊丹市(+28.5億円)、町では稲美町(+1.7億円)。
 ■最も減少したのは、市では西宮市(▲38.9億円)、町では猪名川町(▲2.5億円)。



(カッコ内数値は財政調整基金残高/標準財政規模)

令和5年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

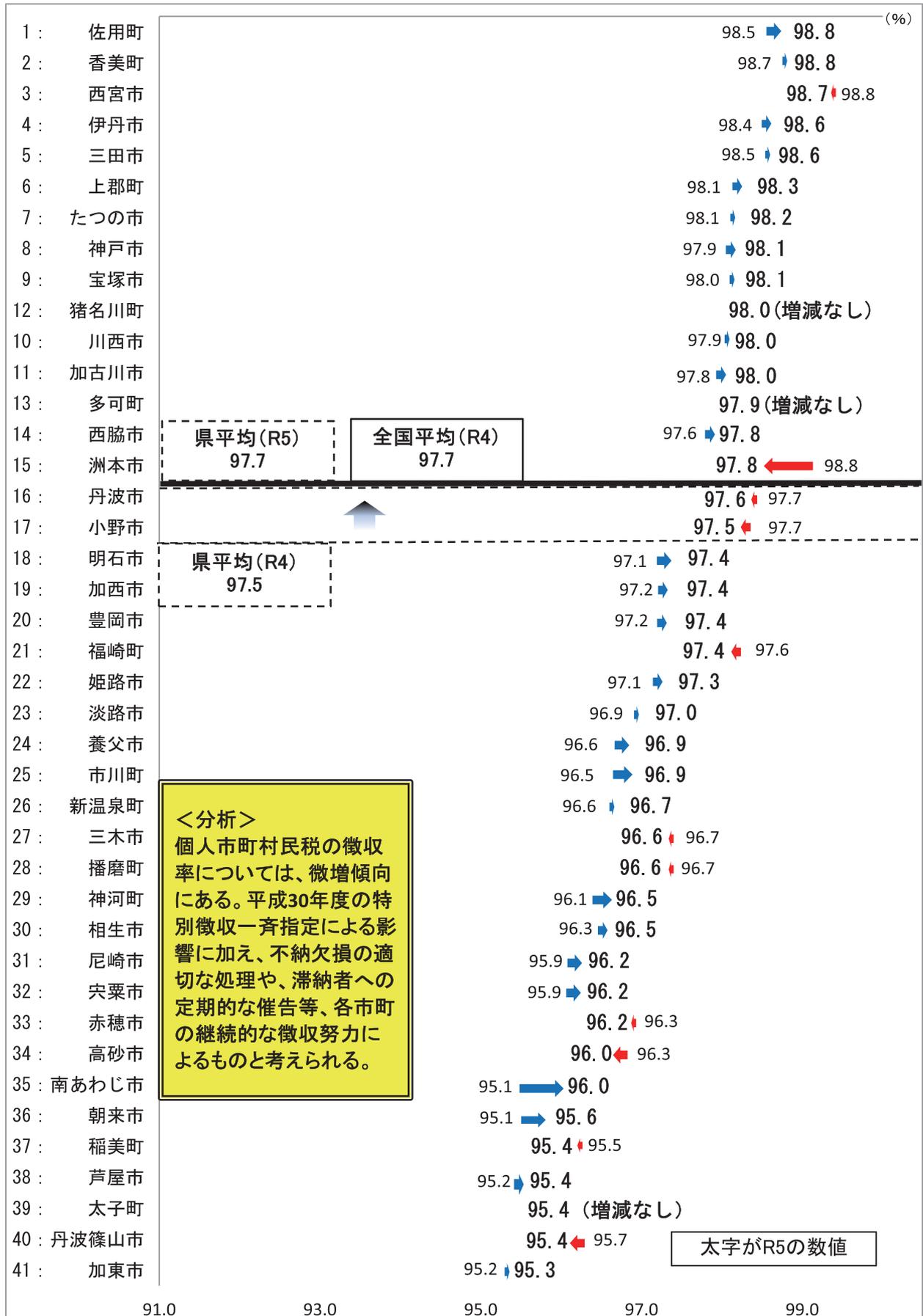
- 徴収率の県平均は、97.7%(R4県平均97.5%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.7%)、町では佐用町(98.8%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では加東市(95.3%)、町では太子町(95.4%)



徴収率（個人市町村民税）の対前年度比較

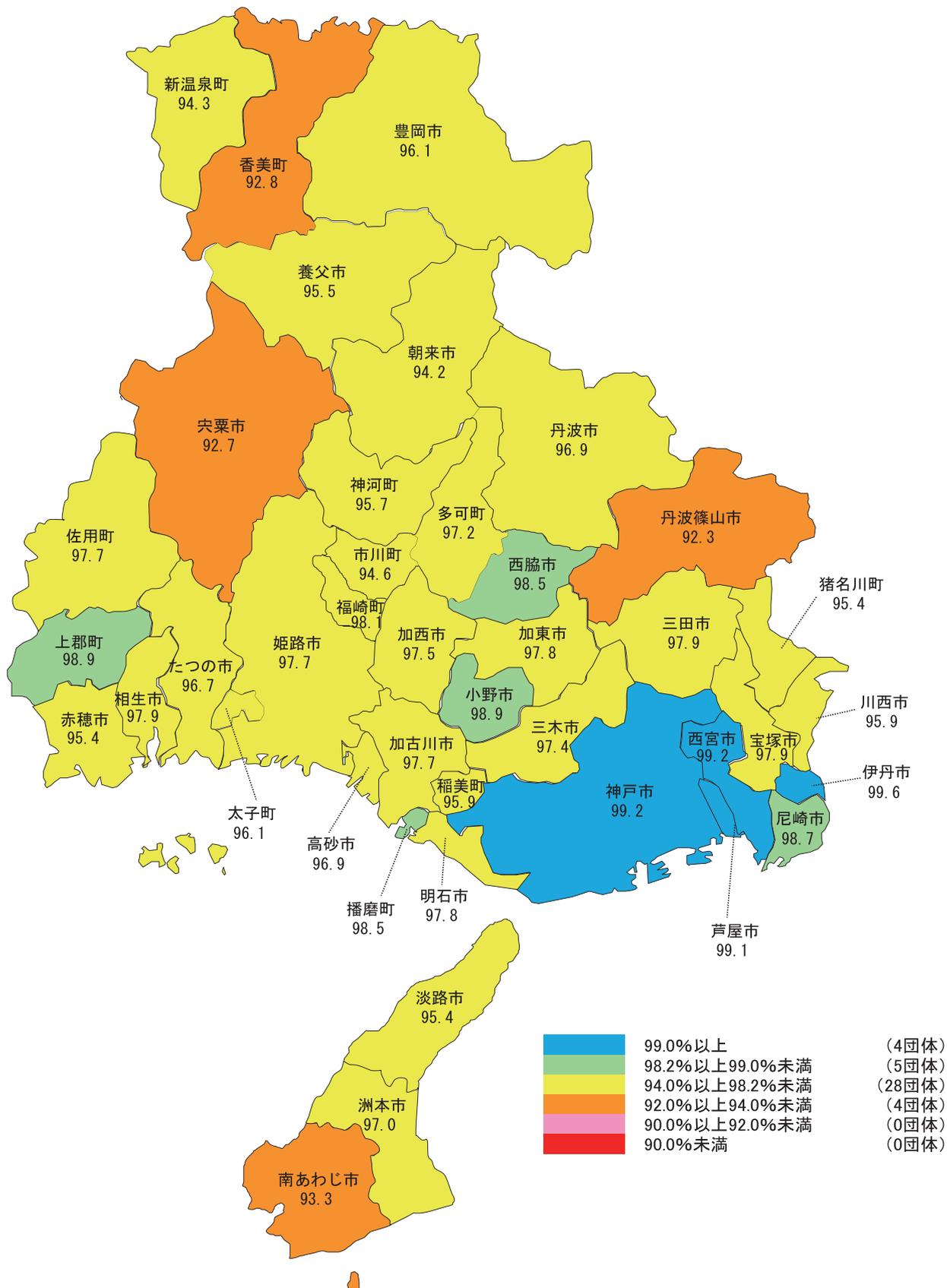
【資料10】

- 前年度から比率が増加したのは27団体。
- 最も増加したのは南あわじ市(0.9%)、最も減少したのは洲本市(▲1%)



令和5年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

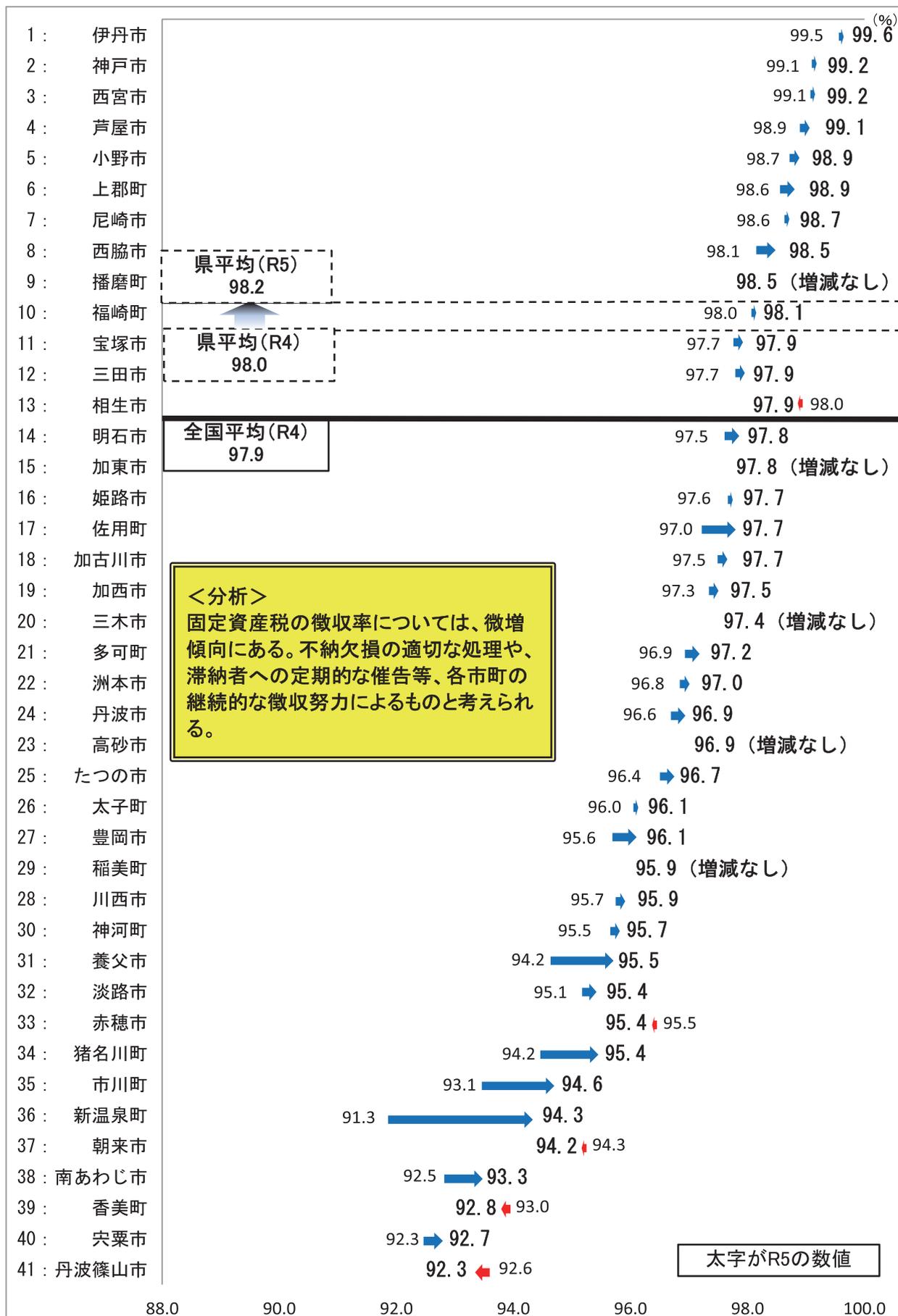
- 徴収率の県平均は、98.2%(R4県平均98.0%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.6%)、町では上郡町(98.9%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では丹波篠山市(92.3%)、町では香美町(92.8%)



徴収率(固定資産税)の対前年度比較

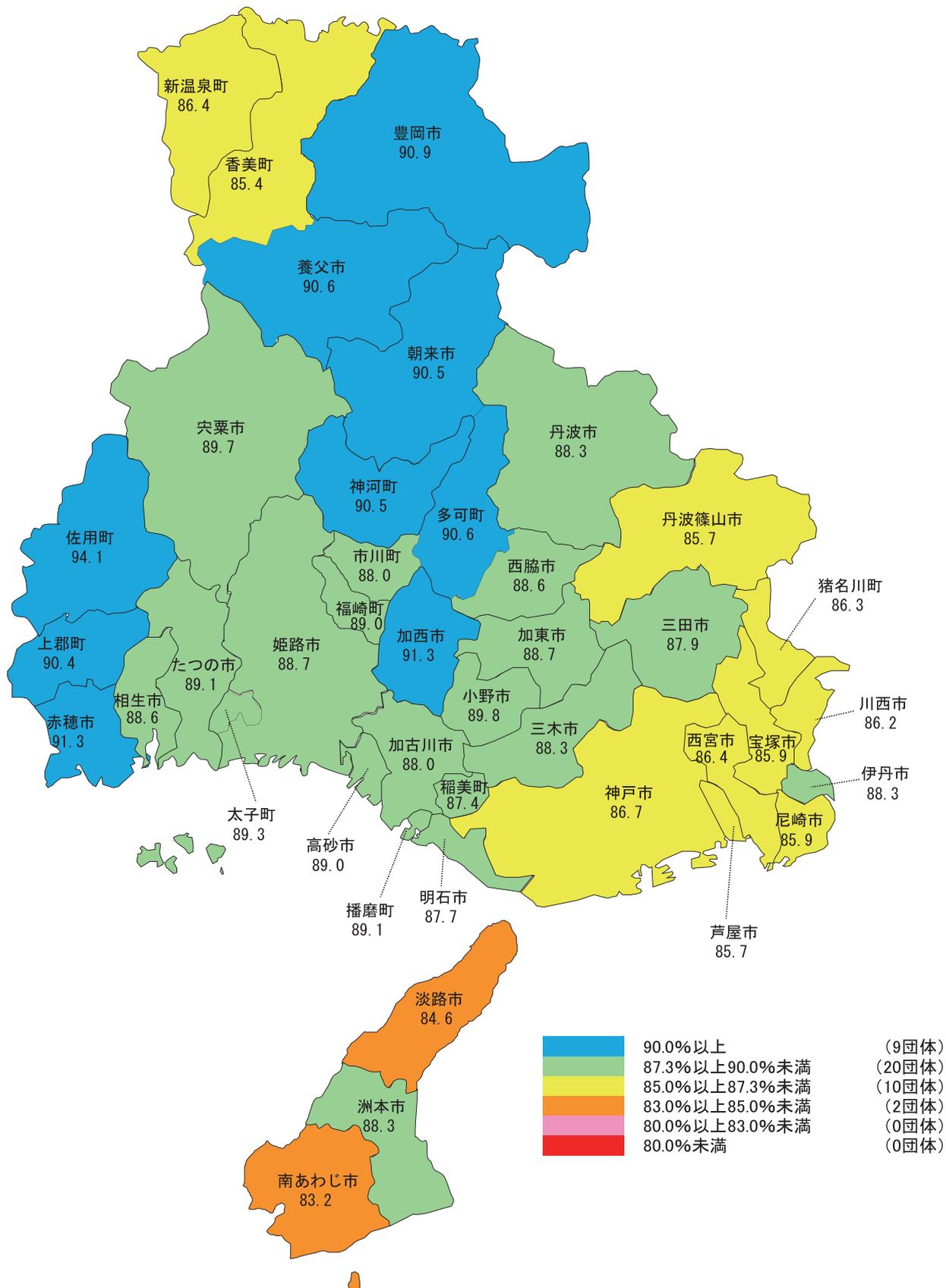
【資料12】

■前年度から比率が増加したのは31団体。
 ■最も増加したのは新温泉町(3.0%)、最も減少したのは丹波篠山市(▲0.3%)



令和5年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

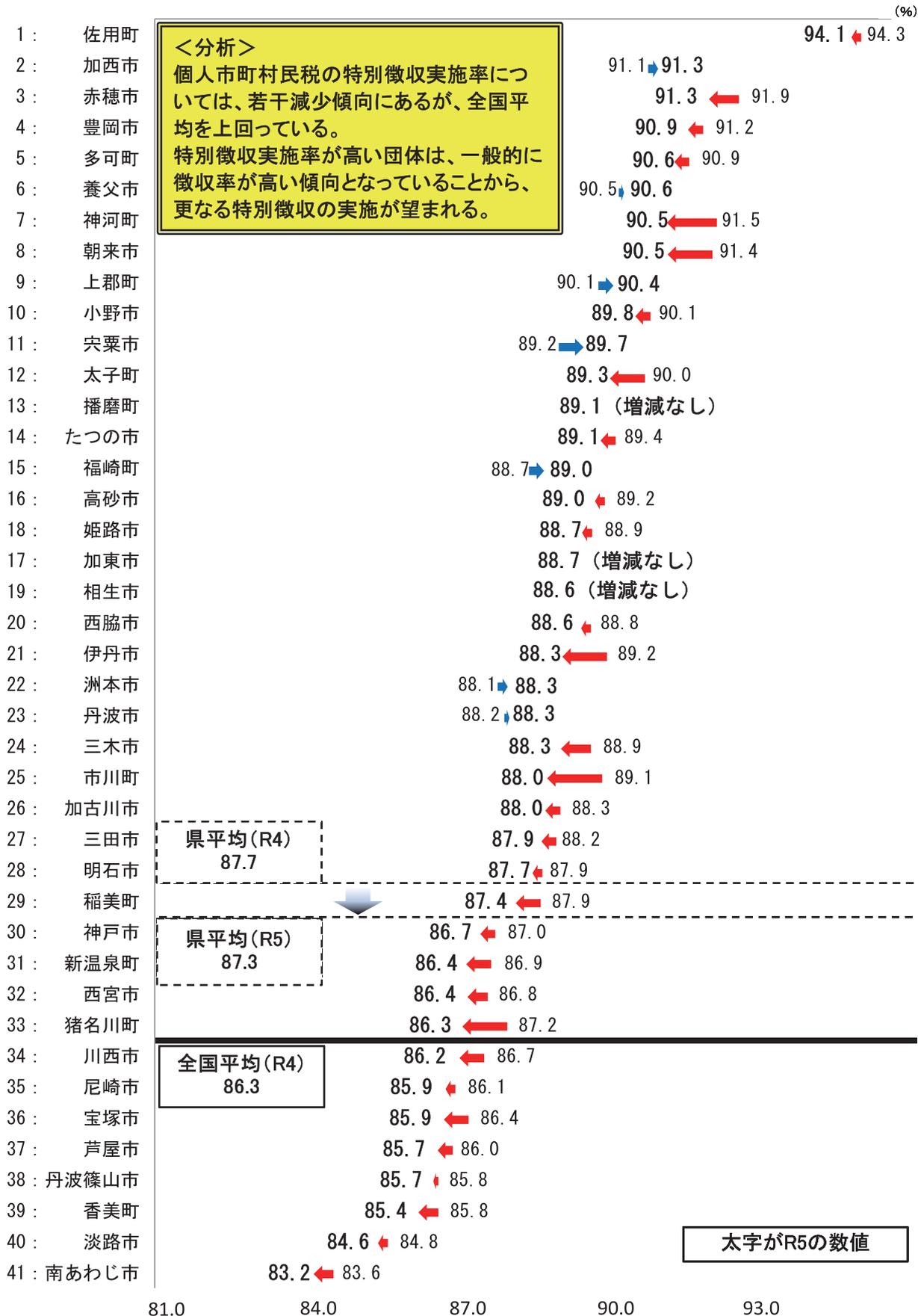
- 特別徴収率の県平均は、87.3% (R4県平均87.7%)
- 特別徴収率が最も高い団体は、市では加西市 (91.3%)、町では佐用町 (94.1%)
- 特別徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市 (83.2%)、町では香美町 (85.4%)



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料14】

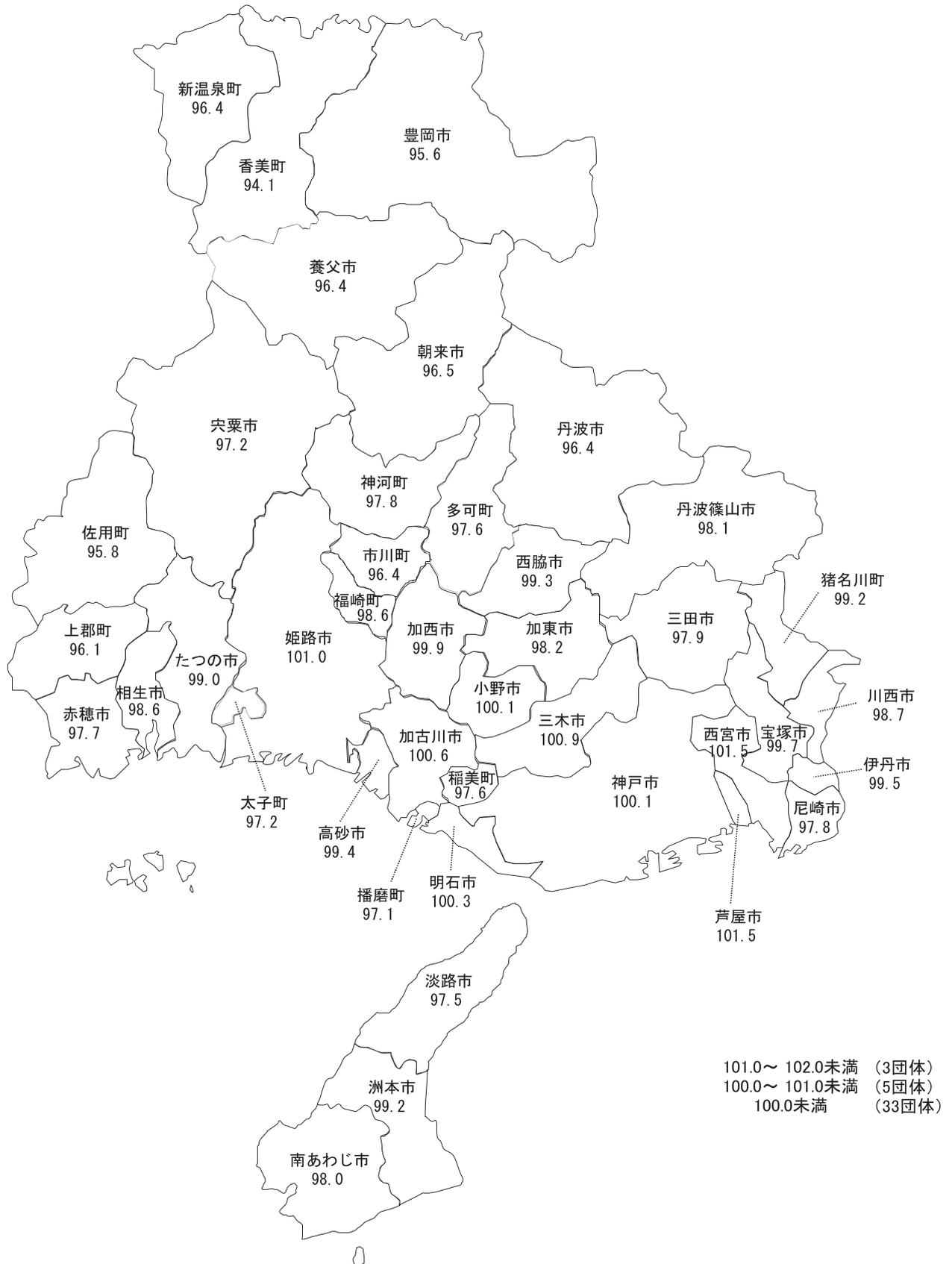
- 前年度から比率が増加したのは7団体。
- 最も増加したのは宍粟市(0.5%)、最も減少したのは市川町(▲1.1%)



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

令和5年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(R5.4.1)

○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、西宮市(101.5)、芦屋市(101.5)など8市町。
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.1)など33市町。



※ ラスパイレス指数:国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

令和5年ラスパイレス指数の対前年比較

【参考資料②】

■前年から指数が減少したのは25団体、増加したのは13団体
 ■100以上の団体は、前年比△1団体の8団体
 ■最も増加したのは川西市(+1.8)

